

ガルバシールド®XP2

犠牲陽極材－腐食抑制型、鉄筋防錆型

概要

「ガルバシールド XP2」は、層状の亜鉛が特殊モルタルに包まれた形状の犠牲陽極材です。

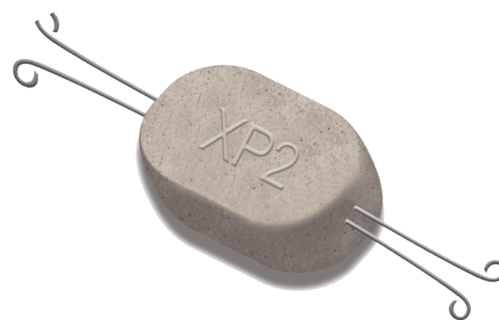
塩害、中性化などによるコンクリート劣化時の断面修復により露出された鉄筋に結束することにより電気化学的に鉄筋防錆、腐食抑制を行います。また補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差によるマクロセル腐食を防止する犠牲陽極材です。

用途

- 断面修復が必要とされるコンクリート構造物
- 鉄筋腐食が推測されるコンクリート構造物（保全部）

特長

- 特許技術 第 3099830 号
- 腐食抑制
進行中の鉄筋腐食を抑制します。
- マクロセル防止
補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差により加速度的に鉄筋腐食が進行するマクロセルを防止します。
- 性能
従来のガルバシールド XP と比較して、最大で 2 倍の発生電流量を実現しました。
- 経済性
ライフサイクルコストの低減を計れます。
従来のガルバシールド XP と比較して約 1.5 倍の寿命を実現しました。
- 多彩な用途
塩害、中性化に関わらず、RC、PC、ポストテンション構造物に適用できます。
- 施工性
迅速かつ簡単な設置です。
- メンテナンスフリー
外部電源 & モニタリングは不要です。
- 耐用年数 約 22 年
ガルバシールド XP と同条件で使用する場合。
耐用年数は腐食環境により前後することがあります。



仕様

■適用範囲

防食レベル	定義	XP2	
小 ↓	鉄筋防錆 (マクロセル)	新しい腐食の発生を防ぐ	○
	腐食抑制 (保全部)	進行中の腐食を抑制する	○
大	電気防食	進行中の腐食を止める	×

■設置間隔表

「ガルバシールド XP2」の設置間隔は、対象部の鉄筋表面積とコンクリート表面積の割合により変化します。
(有効半径は、設置間隔/1.5 です。)

< 断面修復部への適用 (鉄筋防錆、マクロセル) >

1m ² 当りの鉄筋比率	XP2 最大設置間隔
<0.3	750mm
0.31-0.6	700mm
0.61-0.9	650mm
0.91-1.2	550mm
1.21-1.5	500mm
1.51-1.8	450mm
1.81-2.1	425mm

< 保全部への適用 (腐食抑制) >

<0.3	600mm
0.31-0.6	500mm
0.61-0.9	400mm
0.91-1.2	350mm
1.21-1.5	250mm
1.51-1.8	200mm
1.81-2.1	175mm

※塩分濃度>0.8% (セメント比) はお問い合わせ下さい。

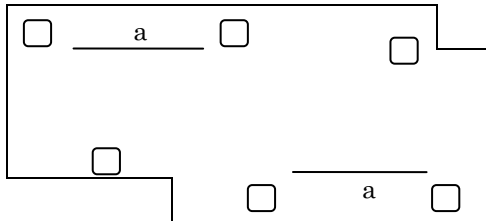
施工手順

- ① 断面修復部へ適用
(鉄筋防錆、マクロセル対策として)

■ 施工フロー



■ 設置例



- : ガルバシールド XP2
a : 最大設置間隔



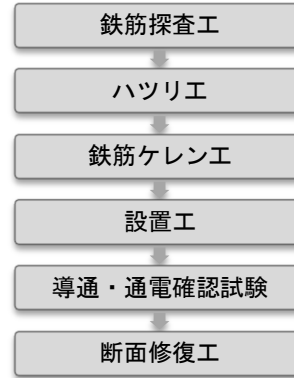
荷姿及び保管

20 個／箱

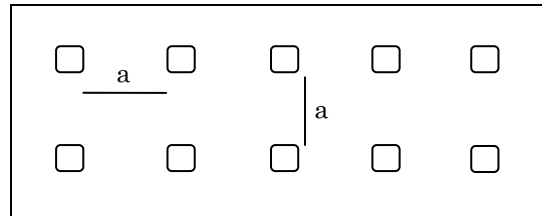
未開封、乾燥した場所に保管して 12 ヶ月。

- ② 鉄筋腐食が推測される保全部へ適用
(腐食抑制対策として)

■ 施工フロー



■ 設置例



- : ガルバシールド XP2
a : 最大設置間隔



安全衛生上の注意事項

- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合には直ちに清浄な水、石鹼等で洗浄して下さい。

CREDECENCE

クリディエンス株式会社

ベクター日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元 :
Vector Corrosion Technologies

改定日 : 2010 年 3 月 1 日

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は